

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	川西さくら園		
○保護者評価実施期間	2024年11月22日		～ 2024年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年11月29日		～ 2024年12月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月29日		～ 2024年12月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先と利用児・保護者をつなぐ役割を意識して支援をおこなっている。	・訪問先の方針を確認し、人員や環境に負担のない範囲でできる支援の提案を心掛けている。 ・保護者面談の際、訪問先の先生方の取り組みや、その取り組みによっての利用児の表情や活動への意欲等の変化を丁寧に伝えるようにしている。訪問先での様子がイメージできるよう、可能な範囲で写真や動画を使って伝えている。	・利用児・保護者・訪問先のニーズをさらに丁寧に聞き取りを行うことで、それぞれのニーズに応じた支援や、つなぐサポートができるようにする。
2	・必要に応じて、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などリハビリ職員等と連携をとりながら支援をすすめることができる。	・訪問先でその場で判断が難しい場合は写真や動画撮影をするなど、持ち帰って他の職員と相談の上、支援内容を検討している。	・事業所内の多職種で連携してすすめるケースをより増やす。
3	・保護者との面談の際、訪問先での支援の報告だけではなく、家庭でできる支援についてのアドバイスも行っている。	・訪問先で利用児がより過ごしやすく、訪問先も支援しやすくなるために、保護者ができるポイントも伝えている。 ・家庭での様子やニーズのききとりを行い、積極的にアドバイスを行うようにしている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援の際に使用した教材教具の目的や、環境設定のポイントが訪問先にうまく伝えられていない場合がある。	・支援員は事業所での環境や、支援のポイントや必要な教具や教材についてイメージできている中で説明しているが、訪問先の先生方にはイメージできていない。	・写真の活用や、目的等をまとめたものを作成するなど、イメージが共有でき、目的が伝わるようになっていく。
2	・訪問支援員の育成と、支援の質の向上のためのアセスメントシートやマニュアルが不十分。	・昨年までは、2名の職員が事業所内の業務と兼務しながら、個人の経験をもとに訪問支援を実施していたため、事業所としての訪問支援の業務の整理ができていなかった。	・共通理解できる評価のマニュアル等作成。
3	・訪問日の候補が限られてしまうことがあり、訪問先の負担になっていることがある。	・訪問先の増加(それに伴う保護者面談日の増加)、事業所内での支援も実施しているため、限られた訪問支援職員の中での日程調整が厳しくなっている。	・訪問支援職員の人材育成により、複数職員ではなく、1人での訪問も可能にし、候補日が増やせるよう努める。 ・面談や訪問時間の短時間化を図り、複数面談・複数訪問可能になるかも検討していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 川西さくら園

公表日 2025年 2月 6日

利用児童数 19

回収数 15

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	2	0	9	・写真を撮ってくれてわかりやすい。 ・把握していないのでわからない。	できるだけ、特別な物でなくても訪問施設にあるような物、簡単に用意できる物での対応を考えています。引き続き、その対応を心がけます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	15	0	0	0	・個室を準備してくれている。 ・いつも落ち着いて話ができる。 ・月1回の訪問でこどもの様子を説明してくれるのはありがたい。	今後も個室で面談を実施します。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14	1	0	0	・最初にも説明があったが、訪問ごとにどんな所を重点的に見てきてくれるのか、話してくれる。 ・資料など見せてもらいながら、わかりやすく説明してもらっている。	今後も、実施前には丁寧に説明を行います。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11	1	0	3	・最初に説明があった。 ・初めよくわかっていたいなかったが、きちんと説明してもらいながら決めさせてもらった。	引き続き、利用者・訪問施設と相談しながら、日時・頻度を決めていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	13	0	0	2	・本人がよく知っている先生が来てくれている。 ・必要に応じてOTの先生なども来てくれている。	引き続き、子どもの状態に応じて、保育士や児童指導員やリハビリ職員が訪問支援できる体制で実施します。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	1	・よく見てもらっている。アドバイスももらえて、大変助かっている。 ・児童発達支援で見ているので、よく子どもの事を理解してくれている。	引き続き、子どもの特性や状況を理解した上で、適切な職員が訪問支援できるように調整をしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	1	0	・適切に把握して、支援計画を作成してもらっていると思う。 ・保護者のニーズも対話の中から拾って文章化してくれている。	引き続き、子どもの特性や状況を理解し、保護者のニーズを聞き取った上で、適切な個別支援計画を作成していきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13	0	0	2	・毎回、担任の先生や支援の先生ともよく相談して頂けていると聞く。 ・担任の先生との連携がとめて取れている安心感がある ・どんな所が困っているのか、次の訪問では何についてのアドバイスが重点的にほしいのか、ちゃんと情報交換した上で文章化してくださっていると思う。	引き続き、訪問先の職員とも話し、相談して、個別支援計画を作成していきます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	2	・ザッと目を通しましたが、内容を踏まえながら提案していただいていると思います。	引き続き、ガイドラインを踏まえながら、具体的な支援内容を作成していきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0	・本人が楽しく過ごしやすい環境になったと思う。 ・息子の頑張りや支援のおかげで、かなり目標に近づけていると思う。 ・支援計画の目標を目指して訪問先に子どもの気持ちを代弁して伝えることで、理解してもらえるように努めてくれていると思う。	引き続き、支援計画に沿った支援を実施していきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1	・本人の事だけでなく周りの園児の事もよく見てもらっている。 ・クラスの先生と共有していただけているのでありがたい。 ・事前に保育所側に連絡していただき、訪問日を決めてもらっている。 ・時間や場所など相談した上で配慮しながら訪問先してくださっていると思う。	引き続き、訪問先の思いや状況等の聞き取りをした上で、支援するように努めます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1	0	1	・一つ一つ丁寧にお話があった。 ・最初に説明があった。	引き続き、利用の際には丁寧に説明します。	
13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0	・新しい支援計画のために説明がある。	引き続き、支援計画を作成した際には、支援計画を見せながら、支援内容を丁寧に説明します。	

保 護 者 へ の 説 明 等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	0	3	6	・まとまりで年に一回そういう機会もあったが、それ以外にも日常的にいろいろと相談したり教えてもらったりできる環境にあると思う。	利用者の大部分は、自園の児童発達支援利用者のため、その時にペアレント・トレーニングを含む研修会を実施しました。児童発達支援を利用していない方には実施できていないので、実施に向け検討していきます。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0	・普段の様子も面談時にお話するとメモを取って頂けたりしてる ・息子のことをよく把握していただいている。 ・コミュニケーションとれる環境にあると思う。	引き続き、訪問支援の報告面談の時には、子どもの発達状況や課題等もお伝えし、共通理解のもと、支援します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0	・面談時に色々お話出来ている。 ・園での状況をよく把握していなかったため、定期的に教えていただいて助かっている。	引き続き、訪問支援の報告面談の時や必要であれば別日を設定し、保護者の気持ちや困りごと等を聞き取り、助言します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0	・伸びた所やもう少し頑張る所など詳しく聞いている。 ・先生のおかげで、かなり心が楽になった。 ・親身になって考えてくれている。	引き続き、子どもや保護者に寄り添いながら、支援をしていきます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	1	・相談してから、かなり早く対応してもらえた。 ・周知はされている。	引き続き、相談があった場合には電話やメールでの対応や面談日を設定し、迅速にかつ適切に対応をします。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	0	・配慮されていると思う。メールは仕事終わりに返信しやすい。 ・その場で相談する時間がなくてもメールや電話でも対応してくれる。	引き続き、訪問支援ごとに面談を設定し、保護者の意向を聞いて確認しながら支援をするように努めます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0	・教室の配置などしっかり説明してくれていると思う。 ・先生達も相談していると聞く。 ・訪問先は毎回教えてもらえることを頼りに思ってくれている。 ・関わってくれる先生みんなに情報共有されていないと感じるとこや訪問支援施設側も伝える時間がなかったと感じている時もあるので、せっかくの訪問なのに伝える時間がなく、もったいないと思う時もある。毎回伝える時間が個別で作れたらベストだが、以前行ってくれたように定期的に伝えることが目的の訪問の機会が今後もあってほしいと思う。	引き続き、訪問ごとに訪問先施設での子どもの様子や状況・困りごとを聞きながら、支援・助言を行います。訪問時以外でも、必要なときは電話での対応も行います。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	0	0	1	・担任の先生や支援の先生にもしっかり支援についてお話してくれている。 ・担任の先生と相談してくれていると思う。	引き続き、訪問支援または別時間を設定し、訪問支援内容の確認や話し合いを行います。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	15	0	0	0	・定期的に面談でお話してくれている。 ・写真や資料でわかりやすく説明してくれる。 ・写真を撮っていて、普段の様子がよくわかり、ありがたい。 ・毎回しっかり振り返りの面談をして、うれるので月一回が楽しみ。	引き続き、訪問支援を実施した際には、保護者面談の時間を設定し、訪問支援の様子や内容をわかりやすく報告し、共有するように努めます。
	非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	10	・発信されている内容を把握していない。 ・説明がある。
24		個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	2	・オフラインパソコンで情報を管理されていて、かなり厳重かと思う。 ・されていると思う。動画を撮る際などは確認してくれている。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分に気をつけます。
25		事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	9	1	0	5	・保育園の方とも連携が取れているようなのでされていると思う。	引き続き、緊急時の対応については、訪問先と連携して行います。
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	2	・されていると思う。	引き続き、訪問先の計画に基づき、状況に応じた安全確認をした上で支援をしていきます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15	0	0	0	・先生にきていただける日をとても楽しみにしている。 ・息子も懐いているようで、細やかに見てもらえた。	引き続き、子どもにも訪問先にも負担の無いように、支援を行っていきます。

満足度	28	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも私(母親)の心に寄り添ってもらっていて感謝です。</li> <li>・大変満足している。</li> <li>・子どもの様子を写真に撮って、どんな活動をしているか、改善するところは何かなども説明してくれるのですごくわかりやすい。</li> <li>・ずっと子どもを見てきてくれるので、理解してくださっている安心感がある。</li> </ul>	引き続き、保護者や訪問先のニーズを聞きながら、満足していただける支援ができるように努めます。
-----	----	------------------	----	---	---	---	---	--

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2025年 2月 6日

川西さくら園

利用児童数 19名 回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面で適時助言してもらったり、動画や具体物を用いて、子の困り感や適切な支援等をわかりやすく提示してもらった。</li> <li>・必要に応じて助言を文書にまとめてくれてありがたかった。</li> <li>・園の実態・状況や児童の実態をよく理解してもらった上での具体的にわかりやすい助言をもらった。</li> <li>・すぐ実践できる。すぐ活かせる。</li> <li>・保育中に話をするので時間がとりにくい。</li> <li>・実際取り入れてみると、難しいと感じることもあるが、次回伝えると、改善策を提案してもらえる。</li> </ul>	訪問先によっては別室にて振り返りを実施しております。今後も訪問先のご希望を伺いながら、必要に応じて別室や別時間での振り返りを実施していきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知・言語・身体等の観点から発達を見極めて助言してくれる。</li> <li>・専門的なスキルや経験を持っていて、質問に対して、色々な角度から考えてもらえる。判断しにくいことは持ち帰って他職員に相談の上助言してくれる。</li> <li>・専門的な知識を活かして、支援方法を教えてくれる。</li> <li>・こちらのペースが遅いことが原因と思うが、支援の進め方が早いと感じることがある。</li> </ul>	お子さんの進路などもふまえて支援のペースを検討しておりますが、より一層丁寧な聞き取りや、状況の確認を行い支援のペースを見直す機会を多く持ちます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対して、的確に回答してくれる。</li> <li>・適切に回答してくれる。また続けることで先生との関係もできている。</li> <li>・その場で声をかけてくれるので、勉強になることがたくさんある。</li> </ul>	今後も適切に回答できるように努めます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を見てもらいながら話ができるので、支援方法・環境構成など改善できた。</li> <li>・助言してもらったことを職員で共通理解を図りながら取り組むことで、子どもたちや学級全体の成長につながっている。</li> <li>・専門の先生からの助言で、保護者も園での対応に理解を得られ、不安が和らいだことも良かった。</li> <li>・こどもの様子や課題解決はもちろんのこと、保護者の考えや思いを共有することができ、良好な関係を築くことができた。</li> <li>・もう少し日程に余裕があるとありがたい。</li> <li>・行事前は忙しかった。</li> </ul>	訪問先との日程調整はご希望を伺ったうえで行ってはいますが、支援内容や状況に合わせて、よりゆとりを持って調整していけるよう心掛けます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回定期的に継続的に来てもらえるので、相談したいタイミングで助言してもらえるし、こどものステップアップにもつながった。</li> <li>・園にとっても子にとってもよい。</li> <li>・2時間超えることもあり、じっくり相談できる。</li> <li>・こちらの話もよく聞いてくれ、保護者との間に入って話を進めてくれることも良い。</li> <li>・具体的なサポートの仕方を提示してくれたが、支援児と定型の子たちとの保育のやり方を迷ってしまう。</li> </ul>	フィードバックの機会を増やすなどして、訪問先のクラスの状況等により合った支援を心掛けていきます。
<p>その他のご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、園児の笑顔がよく見られ、嬉しく思っている。</li> <li>・伸びているところは具体的に認め励ましてくれることで、担任のやる気や励みにつながっている。</li> <li>・いつも一緒に悩みを共有し支えてくれてありがとうございます。</li> <li>・一つ一つ細やかに専門的な助言をもらったことで、こどもの行動の「なぜ？」を園でなく、家庭も一緒になって学び、理解することで、より一層園と家庭が結びつき、こどもの豊かな成長に向かっていく。</li> <li>・こどもの様子に応じて、訪問回数を考えても良いと思った。</li> <li>・今後とも、こどもの成長に合わせた支援・助言をよろしくお願ひいたします。</li> </ul>					<p>ご意見を踏まえた対応</p> <p>訪問支援は最大月2回まで可能ですが、日程調整が難しいのが現状です。お子さんの状態や、訪問先の状況に応じて、頻度の調整をしており、2か月に1回の場合もあります。今後も訪問先と協議しながら、決めていきたいと思ひます。</p>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		川西さくら園		公表日		2025年 2月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	0	見本となるような教材教員を持参し、見せながら説明することでイメージの共通化が図れるようにしている。訪問先でも手に入りやすく、取り入れやすい教材教員を提案し、出来る限り特別な追加準備をしなくても済むようにしている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	希望者が少ない間に、新担当者と経験者が一緒に訪問し、希望者が増えた際には、1人で支援しているような体制を整えている。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	日頃より、気づいたことなどは職員間で話し合い、その都度修正等を加えている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価表だけでなく、訪問支援後の保護者との面談を通して、率直な意見を聞き取るようにしている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	日頃から気になった点はその都度職員間で話し合い、修正している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		外部評価を受ける仕組みが出来ていない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	研修案内がその都度あり、参加希望に対して職員調整を行っている。	業務時間内に研修時間を確保することが難しい。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	保護者のニーズを聴き取り目標を立てている。インフォーマルなアセスメントが多いが、分析したことを順序立てて説明した上で計画を作成している。	子どもから聴き取りによる目標作成は難しい。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	担当職員以外の職員も同行したり、園に来所していただきリハビリ職員が評価を行ったりしながら、複数の職員で検討し計画を作成している。	子どもの最善の利益と、支援できることの範囲が異なる場合がある。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	計画を作成する前に、訪問先施設の意向を聞き、その支援方法が訪問先でも実行できるかどうか確認した上で計画を決定している。	年度が替わる際など、訪問先施設の担当が換わることで訪問先施設側の意向が変わることがある。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	複数の職員で訪問していることもあるため、情報共有は常に心掛けている。	子どもの姿や訪問先施設の状況によっては計画通りに進まないこともある。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	インフォーマルなアセスメントについては丁寧に言い、強みだと考えている。	フォーマルなアセスメントは乏しいため、職員それぞれが使いこなせる技術の習得を目指していきたい。口頭での説明になっているため、評価のマニュアルは必要だと考える。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		ガイドラインを踏まえながら作成を心がけているが、特定の場面での支援もあるため、全てを盛り込むことは難しい。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	11に同じ		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	複数で支援に行く場合には、実際に支援する職員、訪問先職員に説明職員など、役割分担が出来ている。	1人で支援に行くことも多いため、現場では連携して行うことが出来ない場合もある。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	訪問先職員に伝えたことはもちろん、その場では即座に解決できなかったことも相談・検討している。単独での支援の場合も、必要に応じて多職種と相談、検討している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	訪問先施設全体の方針に関わることは担任だけでなく長に確認し、施設やクラスの状態なども考慮しながら支援の在り方や伝え方を検討している。	時間が限られていることもあり、丁寧に聴き取りが必要な場合は、別の機会を設けなければいけない場合もある。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	可能な場合は写真撮影や動画撮影をさせていただき、多職種間でのイメージの共有を図るとともに、支援検証の材料としている。	対象児の様子や職員の力量によっては記録時間が長時間になる。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	順調に園生活を送っている場合には訪問先施設や保護者にそのことを伝え過剰な支援とならないよう間隔を調整したり、集中的な支援が必要な場合には密に連携をとることを心がけている。	細かく具体的な目標にしすぎるとすぐに達成してしまったり、書面上では頻繁な見直しが必要になるため、初めの支援計画は具体的な目標を立てにくい。		



関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	相談支援事業所の担当職員が調整により最適な関係者が網羅されている。	大きな出来事に対して行われることも多く、もう少し気軽に、負担なくできるとよい。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	個別のケースについては会議で情報共有を行ったり、必要に応じて連携をとるようにしている。	必要に応じて行っているため、体制としては整っていない。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		小学校への訪問支援の認知度は高くないため、今後、周知させていくことが課題である。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	組織として外部研修の参加は積極的で、職員動態の調整をしながら参加を促してくれる。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	4	0		現場の職員が参加していないため、具体的に分かりにくい部分もある。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	可能な場合は写真や動画などを撮影し、イメージが持てるようにしている。保護者の受容度、心身状況を考慮し、伝え方や伝える量を調整、保護者支援もステップを踏んでいる。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	児童発達支援に在籍していた児の保護者には在籍中に研修やペアレントトレーニングを受けていただいている。家族の対応が難しいケースは、家庭訪問を行い家庭で出来る目標設定を行いながら進めている。	児童発達支援に在籍していた児でも、低年齢で終了した児の保護者は未実施だったり、在籍経験のない児の保護者には情報提供が不十分である。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	趣旨やシステムの理解は難しく誤解されることもあるが、訪問支援は好意的に受け止めていただき、支援内容についての理解は得られやすい。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	計画を立てる前に保護者からの聴き取りを行い、計画作成時にはその意向を明記しているため、両者で確認しやすい。	コミュニケーションの難しさ等があり、こども本人の意向は読み取れないことも多い。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	定期的に訪問支援を行い、付随して訪問支援の報告面談も行っているため、保護者からの悩みは聞き取りやすく、その都度解決法を探り、次回の訪問面談時に経過を聞き取ることが出来る。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		保護者も仕事で忙しく、面談の日時を確保するだけでも難しいため、新たな機会を作るにはハードルが高く感じる。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	面談時に確認したり電話やメールでその都度受け入れ、即座に解決できるものは速やかに解決し、他の部署や保護者との調整が必要なものは、その都度関係職員で話し合い調整を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	4		保育所等訪問支援に関しては個別対応も多いため、それぞれに対して必要な情報を提供しており、定期的な通信やHP、SNS等の活用はしていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	写真等での説明時には、児以外の顔が判別できないように加工している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	保護者との関係性に重きを置き、気持ちを引き出したり、頑張り認めていくように努めている。外国の方については翻訳アプリを使って資料を作成したり、動画などを使いながら報告、説明を行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	対象児だけでなく、気にかかる事全般に聴き取りアドバイスしている。場合によっては障害児等療育支援事業を紹介したり、相談支援部門につなぐなどの対応を実施している。	利用児の状態が安定している時は対象児以外の以外の相談が多くなることもある。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	訪問先の時間や人員配置が可能な限り実施している。また、当日や直後の時間設定が難しい時は放課後や別日を設定して行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	訪問支援実施後には必要に応じて画像や動画等も使用しながら必ず報告の面談を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	iPADで記録したものはその日のうちに処理し、自身が空の状態を持ち出すようにしている。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	訪問先施設から気になることを聞き取るようにし、気になる行動の背景を説明した上で施設が可能な範囲の支援をスモールステップで提案している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	保育所等訪問支援に特化したものはないため、児童発達支援事業のマニュアルを使用している。	保護者への周知は徹底出来ていない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2	保育所等訪問支援に特化したものはないため、児童発達支援事業のマニュアルを使用している。	園内にあるものを周知する。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	起こった出来事はその都度職員間で共有し、その場で再発防止の意見を出し合っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修は年間で計画している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		事業所内で決定してはいるが、個人によって多少のずれがあるため、共通理解していく必要がある。